



2017年2月21日

TALとカンタス航空の提携について

第一生命ホールディングス株式会社(社長 渡邊 光一郎、以下、「当社」)の豪州子会社である TAL (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Limited 及び同社傘下の子会社の総称)と、豪州の Qantas Airways (以下、「カンタス航空」)は、カンタス航空のマイレージ会員向けプログラムに TAL が生命保険を提供する提携契約を締結しました。

豪州最大の航空会社であるカンタス航空は 1,100 万人を超えるマイレージ会員を有し、健康増進と保険による保障提供を目的としたプログラム”Qantas Assure”を会員向けに提供しています。マイレージ会員は、Qantas Assure が提供する保険(生命保険・医療保険・旅行保険)への加入時、保険料支払時の他、健康増進取組みとして一定の歩数を達成した場合等に、マイレージポイントを獲得できます。今般 TAL は、Qantas Assure 向けに、死亡保険や所得補償保険などの生命保険を独占提供する契約をカンタス航空と締結し、豪州国内で2月 20 日より販売を開始しました。

豪州を代表する航空会社としての優良なブランドと強固な顧客基盤を有するカンタス航空とのパートナーシップにより、より多くのお客さまに TAL の生命保険を提供することが可能となります。

TAL は豪州の保障性商品市場で業界第1位のシェア(保有年換算保険料ベース)を有しており、お客さまのニーズに合わせ、アドバイザー、ダイレクト、ホールセール等のマルチチャネルを通じて保障性商品を提供することに注力しています。今後もお客さまの満足度向上に向けた取組みを引き続き実施していきます。

第一生命グループは、今後も日本、北米、アジア・パシフィックのグローバル三極体制の確立を通じて、持続的価値創造を実現していきます。

以上